

「議員定数削減を求める請願」

6対9で不採択に

有権者4134名の署名をつけた『議員定数削減を求める請願』が提出され、12月議会で賛否をはかるため、委員会審査を省いて本会議で審議されました。

請願の内容は、経費節減のため、現行16名を14名に削減し、22年4月の選挙からの実施を求めるといったものでした。

多くの傍聴者がつめかけのなか、請願者にかわり紹介議員が他の議員の質問に答えるかたちで審議がすすまれ、最後の討論には13名の議員が立って賛否両論からの主張をぶつけ合いました。

採決の結果、賛成6名、反対9名で請願は不採択となり、4月に予定されている町議会議員選挙は、前回同様定数16名でおこなわれます。

後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号) 付し、療養費負担金11万3千円が精算還付されたことによる収入と、それに係る一般会計繰入金の減額です。(全員一致)

4月と5月に収入された昨年度の保険料162万1千円を広域連合に納付し、療養費負担金11万3千円が精算還付されたことによる収入と、それに係る一般会計繰入金の減額です。(全員一致)

簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 下水道事業特別会計補給(第2号) 正予算(第2号) 下水道事業関係職員給与と改定に伴う188万5千円を減額するもので

簡易水道事業特別会計補正予算(第2号) 下水道事業関係職員給与と改定に伴う188万5千円を減額するもので

給与改定に伴う人件費

の余剰金949万3千円を簡易水道事業基金に積立てるものです。(全員一致)

す。

(全員一致)

平成20年度各会計歳入歳出決算の認定

この議案については、

9月議会で決算特別委員会に付託されています。議会閉会中に委員会による審査が行われ、今議会に審査報告が提出されました。

審査の結果は、次の意見を付けて認定するといふものでした。

1、一般会計を含め数件の特別会計に多くの不用額を出している箇所が見受けられる。入札執行による予算残額、効率的な予算執行努力により不用額が発生していること等考慮すべき点もあるが、多額の不用額を出さない予算編成と執行を求める。

2、温泉利用助成金事業で高齢者等に利用券を配布しているが、なお一層の活用が図られるようPR等に努められたい。

3、臨時保育士の雇用常態化が見受けられるので、待遇面の改善等の考慮を要する。

4、健康増進事業において「がん検診」事業が実施されているが、受診率のなお一層の向上を図りたい。受診率を高めることで早期発見、早期治療ができ、ひいては医療費抑制につながるものである。

5、木造住宅耐震強化促進事業により家屋の耐震診断の受診率が高いが、要改修と診断された家屋の改修率が低い。近いうちに発生すると言われる東海・南海地震に備え、PR等に努められたい。

6、農地災害にかからない部分の農地復旧について、補助事業の確立を目指し、新たな遊休農地の発生を防止されるよう努められたい。

7、税その他の使用料の未収金が増加してきて

いる。世界的な経済危機による要因もあると思うが、回収に努力されたい。

8、「財団法人日高川町ふるさと振興公社」は、本年から改善に着手されて経営改善に取り組まれている姿勢は評価するが、なお一層の抜本的な経営改善を図られるよう望む。

(賛成多数)

